

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉
(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

も、どれだけ読者の皆様のお役に立つ内容になっているかは疑問ではあるが、ところで、今回は、

大企業の方に多いのだが、損益計算書(P/L)についてはよく理解されているのだが、貸借対照

表(B/S)やキャッシュフロー計算書(C/F)については、ほとんど見たことがないという人が多い。それは、各部門では日頃から売上や費用についての管理が中心であり、販

進の根幹はどこにあるだろうか。企業は株主から出資しても

すなわち、経営者としては、常に真にキャッシュを生み出す

がキャッシュフロー計算書(C/F)だ。本来の事業活動で

ところで、経営推進の根幹はどこにあるだろうか。企業は株主から出資して

すなわち、経営者としては、常に真にキャッシュを生み出す

がキャッシュフロー計算書(C/F)だ。本来の事業活動で

【第5面に続く】

コンサルタントの現場から

第100回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

キャッシュフロー経営に徹する

このコラムも100回目となった。100回もよく続いていると思うのだが、社長業の経験に加え、コンサルタントとして数々の問題事例や改革事例に接する機会を得、また経営者の皆さまに教えていただくことが多かったことが、ここまで続けることができている理由ではないかと思う。もっとも、どれだけ読者の皆様のお役に立つ内容になっているかは疑問ではあるが、ところで、今回は、

100回目という区切りでもあるので、経営推進の根幹であるキャッシュフローについて再度確認しておきたい。今まで、このコラムでは経営の基本として何回もキャッシュフロー経営推進の重要性について述べてきた。

B/S、C/Fは理解しているか

大企業の方に多いのだが、損益計算書(P/L)についてはよく理解されているのだが、貸借対照

表(B/S)やキャッシュフロー計算書(C/F)については、ほとんど見たことがないという人が多い。それは、各部門では日頃から売上や費用についての管理が中心であり、販

日本での相続、不動産、介護問題のご相談・解決のお手伝いをさせていただきます。

お気軽にご相談ください

事務所: 東京都中央区京橋2-5-22 キムラヤビル3階
電話: 03-3564-5555 FAX: 03-3564-6559
E-mail: ichizo.okada@tiara.ocn.ne.jp



弁護士 岡田 一三
東京弁護士会所属

海外にお住まいの日系の皆様のお手伝いを30数年行っています。皆様がタイにいなから問題の解決ができます。

相談
無料

事案解決
成功報酬

<http://japanese-law.com>

【第4面から続く】

するなり増資すると
いった資金手当てが
必要になる。ちなみ
に、これらを財務
キャッシュフローと
呼んでいる。
すなわち、経営推

進で一番大切なこと
は、いかにフリー
キャッシュフローを
確保するかというこ
とだ。事業価値を評
価する場合、いかに
キャッシュを生み出
す力があるかで評価
するが、どれだけの

キャッシュを生み出
せるかは、このフ
リーキャッシュフ
ローで判断すること
になる。ちなみに
事業価値は将来的に
生み出すフリー
キャッシュフローを
現在価値にして評価

するが、経営の基本
はこのフリーキャッ
シュフローをいかに
確保するかに他なら
ないということだ。
もし、フリーキャッ
シュフローがマイナ
スということは、
キャッシュを垂れ流

しているということ
であり、この状態を
放置することは許さ
れないということ
だ。
釈迦に説法ではあ
るが、今一度、経営
を推進する上で基本
となるキャッシュフ

ローを認識し、どう
するとお金が増やせ
るかを理解した経営
推進を図っていただ
きたい。キャッシュ
フロー経営の推進こ
そが経営の基本なの
だ。

クボタ ミャンマー販売拠点を整備 タイでコンバイン生産能力引き上げ

農機大手クボタ
(本社・大阪市浪速
区、木股昌俊社長)
とタイ王室系企業サ
イアムセメントグ
ループとの合弁子会
社である「サイアム
クボタコーポレー
ション」(以下SK
C)は、2016年
の売上が前年比4%
増の500億バーツ
に達したと発表し
た。売上の内訳はタ

イ国内市場での販売
分が270億バー
ツ、輸出分が230
億バーツ。同社では
今年の売上の伸び率
として前年比10%増
を見込む。

SKCは海外市場
としてミャンマー、
カンボジア、ラオス
を重視しているが、
特に耕作面積の広大
なミャンマー市場の
成長が著しい。その

ため、ク
ボタは今
年2月3
日、ミヤ
ンマーに
設立した
農業機械
販売会社
「クボタ
ミャン
マー」の
開所式を
行ってい
る。同社
はミヤ
ンマーにお
けるトラ

クタ、コンバイン、
田植機、耕うん機、
ディーゼルエンジン
などの販売・メンテ
ナンスを目的として
15年9月8日に設
立。投資額は3億5
000万バーツで、
日本のクボタが
80%、サイアムクボ
タが20%出資してい
る。

SKCではさら
に、ミャンマー、フィ
リピン、インドネシ
アなどASEAN諸
国での販売拡大のた
め、チョンブリ県ア
マタナコン工業団地
のコンバイン工場を
拡張する。建屋面積
2万7500平方
メートル、投資額8億20
00万バーツ。生産
能力は年間2万台
で、今年10月から稼
動する。

クボタは今年
2月3日、ミヤ
ンマーに
設立した
農業機械
販売会社
「クボタ
ミヤ
ンマー」の
開所式を
行ってい
る。同社
はミヤ
ンマーにお
けるトラ

SKCはタイ政府
の提言する農業革新
推進のため、農業作
業の効率化を図り、
コストダウンと収穫
増の実現を支援する
方針だ。

この農業革新はタ
イ政府が「タイ農業
4・0」と呼ぶもの。
「タイランド4・0」
「産業4・0」など4
0は新聞紙上で最も
目にする数字とも
なっている。このな
か、タイ投資委員会

タイ投資委員会主催セ
ミナーでタイランド4
0時代の社会変化を語
るタニンCP会長

以上で増す。ただ、
訪問販売は激減する
ため、営業スタッフ
が淘汰されること
になる。これらの変化
に対応できない企業
は衰退するしかな
い」とタイの将来を
見通す。

その上で「この変
化をチャンスとら
えることのできる企
業は大きな成長を遂
げる。それにはネッ
ト世代の若者の活用
が最大の課題とな
る。新しいビジネス
は若者から生まれ
る」と言い切った。
ただ、若者は企業
に就職することを好
まず、起業志向が強
い。そのため、「ス
タートアップ」(将
来性のある新設会
社)がキーワードと
なり、これが世界的
な傾向になるとい
う。そのため、企業
は社内人材を育成
するだけでなく、社
外人材との提携をい
かに進めていくかが
今後の課題になると
のことだ。
(倉林義仁記者)

昨年度業績および今後の事業戦略を発表したサイアムクボタコーポレーション経営陣



タイ投資委員会主催セ
ミナーでタイランド4
0時代の社会変化を語
るタニンCP会長



タイ投資委員会主催セ
ミナーでタイランド4
0時代の社会変化を語
るタニンCP会長

タイ投資委員会主催セ
ミナーでタイランド4
0時代の社会変化を語
るタニンCP会長

タイ投資委員会主催セ
ミナーでタイランド4
0時代の社会変化を語
るタニンCP会長

タイでの工場建設・増築
お任せください!

タイでの**工場建築・増築・設備**に経験豊富な日本人が全力でサポート!

提案力かつ**ローコスト**が強み! 工場内設備・電気設備も一括対応

設計・施工・メンテナンスも一貫して自社社員でフォロー!

お問合せはこちら Tel: 081-991-5078 (杉浦)
E-mail: sugiura.tcc@tcctecnica.co.th
TCC TECNICA CO.,LTD.
(本社パトナーニ・支拠点シーラチャ 日本人社員6名)
122 Moo.20 T.Klongnueng, A.Klongluang, Pathumthani 12120

www.tcctecnica.co.th

铸造メーカー様 (2016年竣工) チョンブリー県
電子機器メーカー様 (2015年竣工) ナコンパトム県
自動車部品メーカー様 (2014年竣工) サムットプラカーン県

タイで28年の実績 オフィスの新設、移転、改装なら

オカムラ

Siam Okamura International Co., Ltd.

info@siamokamura.com

私たちオカムラグループはオフィス構築におけるお客様のあらゆる業務をサポートし、デザイン、家具、内装、設備工事、アフターフォローにいたるまで、オフィスづくりのトータルソリューションをご提供いたします。

齋藤: 084-544-2552 (バンコク)
津田: 089-060-6248 (チョンブリー)